

製品名: IL-1 受容体アクセサリタンパク質ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03046**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 65 kDa; Observed MW: 78 kDa

抗原情報

遺伝子名	IL1RAP
別名	IL-1 Receptor Accessory Protein; IL1R3; C3orf13; IL-1RAcP
遺伝子 ID	3556
SwissProt ID	Q9NPH3
免疫原	ヒト IL-1RAcP の組換えタンパク質

背景

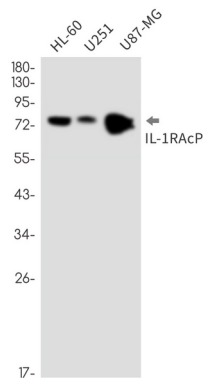
インターロイキン 1 は、感染、組織損傷、またはストレス時に、インターロイキン 1 受容体および補助タンパク質と細胞膜上で複合

体を形成することにより、急性期タンパク質および炎症誘発性タンパク質の合成を誘導します。この遺伝子は、インターロイキン 1 受容体補助タンパク質をコードします。このタンパク質は、インターロイキン 1 受容体複合体の必須構成要素であり、シグナル伝達イベントを開始し、インターロイキン 1 応答遺伝子の活性化を引き起こします。この遺伝子の選択的スプライシングにより、膜結合型と可溶性の 2 つの異なるアイソフォームをコードする 2 つの転写バリエーションが生成されます。急性期誘導またはストレス下では、可溶性型と膜結合型の比率が増加します。

研究分野

免疫学

画像データ



IL-1 受容体アクセサリタンパク質抗体を使用した HL-60、U251、U87-MG 溶解物中の IL-1RAcP のウエスタン ブロット分析。